

甲斐市立竜王南小学校訪問・・・11月14日（火）

今回訪問させていただいたのは、甲斐市立竜王南小学校（全16学級のうち4学級が特別支援学級、児童数365人）です。竜王南小学校では、授業補助や清掃・給食指導等に、多くの学生の皆さんが活動しています。お忙しい中、遠藤建生校長先生、田中清登教頭先生、教務主任の久保田勲先生が対応してくださいました。

3校時に5名の学生の活動を参観しました。4年生：児童会選挙の取り組み、5年生：体育の器械運動・音楽のリコーダーのグループ練習、6年生：理科では力のはたらきの実験の授業補助、特別に支援が必要な児童の指導など、学生の皆さんは笑顔で生き生きと活動していました。



<個別の学習指導の場面>

児童の皆さんの声

- ・具体的にアドバイスをしてもらえる。
- ・お手本を見せてくれる。
- ・担任の先生は全体を教えるけど、ボランティアの先生には、個人的に分かからないところをやさしく教えてもらえるからいい。楽しい。

◇花形さん、渡邊さん、北原さん、一瀬さん、土屋さんに聞きました



<学生の皆さんへのインタビュー>

の実態は様々だけど、自分だったらどのようにするかという視点を持って、取り組んでいます。

教育ボランティア活動で気付いたことや学んだことは何ですか。

- ・大学では障害児コースで学んでいます。特別支援学級の児童が交流学級の中で他の児童とどう一緒に活動させたらよいか、勉強になります。
- ・活動を通じ、一つの指導から様々な受け止めをする児童がいることなど、教室全体を俯瞰できるから児童の指導について学べます。
- ・意思の疎通ができず、10回のうち9回は心が折れそうになるけど、子どもの良さや頑張りが見えると思えます。
- ・指示が通らないことや立ち位置が難しいです。小学校2～6年を幅広く見えています。竜王南小の先生方から児童への指導方法を学んでいます。
- ・1週間たって教育ボランティアに行くと、児童の成長を感じます。クラス

教育ボランティア活動で一番心に残っていることや感じたことは何ですか。

- ・クラス全体への指示の出し方、いかにかみくだいて説明をしていくかが大切だと思いました。
- ・竜王南小学校の先生方や子どもたちから、子どもたちへの接し方を学んでいます。
- ・コミュニケーションが取れ、信頼関係が築けて初めて先生になれるのだと感じました。
- ・その子なりの表現を見て、その子の児童理解を深めていくことの大切さを学びました。
- ・竜王南小には経験豊富な先生方が様々な指導をしています。自分ならどんな顔をして向き合うか考えていきたいです。

<遠藤建生校長先生のお話> 経営方針の一つとして、学力を高めるために、楽しくわかる授業づくりに力を入れて取り組んでいます。学生の皆さんには、何をするのかを明確にして支援をお願いしています。また、教育現場で多くのことを学んでほしいと思います。学校として、学生の皆さんには支えられています。

<久保田勲先生のお話> 学生の皆さんには、チーム学校の一員として、支援を必要とする子供たちに寄り添うお兄さんお姉さん役として活躍してもらっています。とてもありがたい存在で感謝しています。

◇訪問を終えて・・・竜王南小学校の先生方の指導を受ける中、学生の皆さんが、自分だったらどのように児童に対応したらよいかを主体的に考えながら実践していることに深い感銘を受けました。教育ボランティアの学びがさらに深まっていくことを願っています。日頃の竜王南小学校の先生方の学生に対するきめ細やかなご指導に心から感謝致します。